

当財団主催セミナー 実施報告

当財団が提供する研修プログラムの中からご要望の多いセミナーについて、デモセミナーを開催し、企業の人事担当者の皆様に一部ご体験いただいております。このたび、当財団客員講師の大野任美が講師を務め、管理職を対象にした『「仕事×介護」「仕事×治療」両立を支えるマネジメント研修』および『女性部下を持つ管理職向け研修』のデモセミナーを実施しましたので、ご紹介いたします。

2018年 6月12日開催 デモセミナー「仕事×介護」「仕事×治療」両立を支えるマネジメント研修

カリキュラム例

管理職対象

1. ダイバーシティ推進の必要性
2. 「介護」「治療」をしながら働く社員の状況
3. 「介護」「治療」の基礎知識
4. 部下が「介護者になった」、「罹患した」時にも仕事を継続するためには
5. ダイバーシティマネジメントのために
6. まとめ

一般社員対象

1. 「介護」「治療」をしながら働く社員の状況
2. 「介護」「治療」とは
3. 「介護」「治療」との両立について不安に思うこと(意見交換)
4. 離職せずに仕事と両立するために
5. まとめ

こちらもおススメ



家族の介護を担っている社員、あるいは自身が病気を抱えている社員をどうマネジメントしていくかは企業の重要な課題の一つです。この日は「介護」「治療」をしながら働く社員の現状や潜在的な離職リスク、部下が「介護者になった」「罹患した」ときに仕事を継続するための上司の対応などについて、実際の研修さながらにグループワークを交えながら講義が行われました。

参加者の声

- 悩み(介護・治療)を打ち明けられない社員に対してのアプローチ法がわかり、勉強になりました。
- 人事のみではなく、管理職の意識改革の重要性がよく理解できました。
- 介護・治療について、相談ができる環境づくりや社内の制度づくりなどが今後必要だと思いました。

2018年 8月22日開催 デモセミナー 女性部下を持つ管理職向け研修

カリキュラム例

女性社員を部下に持つ管理職対象

- ・自分自身が持つ性別役割分担意識に気づく。
- ・女性優遇ではなく、男女ともに「個別育成」がマネジメントに求められていることを理解する。
- ・女性ならではの特徴を踏まえた女性部下育成ポイントを学ぶ。

組合せて行くと効果的!

女性社員対象「キャリアデザイン研修」

- ・キャリア形成に関する、自身の不安と向き合い、それを乗り越えるために取り組むべきことを理解する。
- ・キャリアデザインの考え方、必要なフレームを理解し、ワークを通じ自己理解を深め、キャリアビジョン、目標、行動計画を作成する。



このセミナーでは、女性部下が活躍できていない原因について探っていきながら、財団が実施した調査結果等を元に、管理職に求められる役割や女性育成のポイントなどについて講義が進められました。さらに自身が持つアンコンシャスバイアスへの気づきやコーチングを活かしたマネジメント手法などについても学んでいただきました。

参加者の声

- 社内でも課題であるテーマのデモを受けることができ、良い機会でした。
- 研修の必要性を感じていたので、とても興味深く聞きました。
- 調査結果などの具体的なデータが多く提示されていて、納得感がありました。

東京・大阪にて各種プログラム紹介セミナー好評開催中! 今後の開催予定は当財団ホームページをご覧ください。

<http://www.jiwe.or.jp> ※好評につき、すでに満席の場合はご容赦くださいますようお願いいたします。

貴社のご要望・課題解決に向けたプログラムを経験豊富なスタッフがご提案いたします。

オーダーメイド研修に関するお問い合わせ E-mail: jigy@jiwe.or.jp

開催レポート 課題を共有しながら解決へ!

ダイバーシティ・女性活躍推進 新任担当者セミナー in 東京

2018年7月26日、東京・連合会館で、さまざまな企業でダイバーシティ推進の旗振り役として活動されている新任担当者に向けたセミナーを実施しました。17社から23名が参加し、成功事例を学んだり、先進事業の推進責任者の話を聞いたりして、課題解決に近づく手法を共有しました。

冒頭に当財団から伊岐典子会長が登場。「経営戦略としての女性活躍推進」と題し、「女性活躍はダイバーシティの『基本のき』。かつでは、男女差別はいけないという『正義』の立場に立った女性活躍だったが、いまは数多くの経営メリットがあるという『経済』の論理によって女性活躍の必要性が高まっている」と現状を語りました。

先進企業の事例として、2017年「新・ダイバーシティ経営企業100選」を受賞されたパシフィックコンサルタンツ株式会社経営企画部D&I推進室長兼PCIGグループ経営企画部の飯島玲子氏が「とにかくトップ(社長)をいかに巻き込むか。D&I経営に特効薬はない。あきらめずに何度でも繰り返し発信し、動き続けることが重要」と強調されました。

グループディスカッションでは、財団客員講師前之園めぐみのファシリテーションにより、「トップの意識改革」「行動計画・数値目標」「女性社員への働きかけ」「管理職への働きかけ」「働き方改革」といったテーマでそれぞれの課題と取り組みについて話し合い、理解を深めました。

7月27日、大阪・鉄鋼会館で同様のセミナーを開催し、17社22名の参加を得ました。株式会社竹中工務店人事室ダイバーシティ推進グループ長の久保素子氏より事例発表をいただき、活発な意見交換を行いました。

参加者の声

- 女性活躍推進の歴史から現在の状況、D&Iの必要性を再認識できました。
- 今後、当社でダイバーシティを推進していくためにたくさんのヒントをいただきました。
- ワークショップ形式でいろいろな会社の事例、方法が聞けて参考になりました。



パシフィックコンサルタンツ株式会社 飯島玲子氏



編集後記

各地で40度を超えるという酷暑も過ぎ、朝晩は涼しさを感じられる季節になりました。今年も残すところ、あと3か月です。

当財団では、働く女性の皆さんに向けて「明日のビジネスを担う女性たちの交流会」を開催しています。今年度も福島を皮切りに、大阪、宇部、東京での開催を予定しています。企業で“トップランナー”として活躍されている女性の方々からのお話が聴ける貴重なチャンスです。成功体験だけでなく、立ち塞がった困難や失敗の経験など、等身大の話を毎回多くの共感の声をいただいています。ぜひご参加ください。③

ダイバーシティ 21 DIVERSITY 21 vol.034

2018年9月25日発行

編集・発行

公益財団法人 21世紀職業財団
〒113-0033
東京都文京区本郷 1-33-13 春日町ビル3階
TEL 03-5844-1660(代) FAX 03-5844-1670
<http://www.jiwe.or.jp>